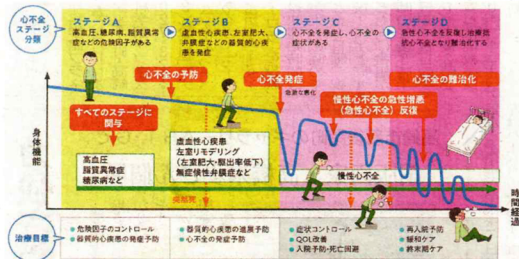


心不全とそのリスクの進展ステージ



厚生労働省「脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る診療提供体制の在り方について」(2017年7月)を改変して作成した日本高血圧学会編「心不全の基礎知識」から引用

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

起るのわけやむきみが、心不全は慢性的に続

⑦8 心不全とそのリスクの進展ステージ

人生100年時代の健康管理
桐生大学 桐生全期短大副学長 山科 章



【プロフィール】広島県生まれ。1976年広島大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科勤務。99年東京医科大学循環器内科主任教授。2020年5月から現職。総合内科専門医、日本循環器学会専門医、前日本循環器病予防学会理事長。

前回、心不全発病の病気がいとも怖い。リスク状態が長く続

ではありませぬ。心不全は予防が重要という観点から、症状のない時期から終末期までの四つのステージに分類されています。

保健・福祉

しており、過労、水や塩分の過剰、風邪、薬の飲み忘れ等により症状が急激に悪化(急性増悪)します。治療の強さを悪く、心不全症状が出現する前(ステージB)の状態にはなりません。心不全は慢性的に続

◆毎週月曜連載 桐生大学・桐生大学短期大学部副学長の山科章さんは、同大学医療保健学部の学生などに講義も開講している。